

幼兒教育

第十二卷 第一四號

大正十四年十月五日發行

目 次

- | | |
|------------------|---------|
| 兒童保護宣傳の趣意 | 湯原元一 |
| 新入園の幼兒を迎へて | 藤井利舉 |
| 遠足と携帶品 | 竹野芳次郎 |
| 子供のためのサンマー・カテーテル | 石原君子 |
| 米國視察談 | 大森亞仁子 |
| 日記のひこふし | や よ ひ |
| 皆様に聞いて頂きたいことば | か つ み を |
| 傳染病豫防及消毒法 | 東京女高師醫局 |
| 兒童保護宣傳の諸計畫 | |
| 現時の保育問題 | |

森川正雄

日本幼稚園協会

会 告

本誌定價

一冊(郵税共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ
込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六
番)

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確

實に御納付下され度向後萬一御不納久しき

に至り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致

候間左様御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願

上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一

報煩し度候

編輯兼發行者 東京市下谷區花園町一番地
黒瀬 肇

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印 刷 者 柴山則

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印 刷 所 杏林舍 常

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

大正十年四月十二日印刷
大正十年四月十五日發行

合衆國に於ける有數の幼稚園雑誌には左の如き表題の下に毎號各幼稚園に於ける新計畫を募集して居る。それで本所に於ても月刊雑誌「親の爲」四月號より同様の試みを企て、一方に前記米國に於ける新

幼稚園に於ける新き試み

事に對しては米國雑誌と同様薄謝を呈します。因みに「親の爲」は一冊代金貳拾六錢半年分壹圓五拾錢一年分參圓で提供します。

智能查定法用具

し一組金壹圓送料拾貳錢、木型盤添付一揃金參圓五拾錢送料拾八錢です。

發行所

東京市芝區白金三光町五三七番地
振替口座 東京三六二二九番

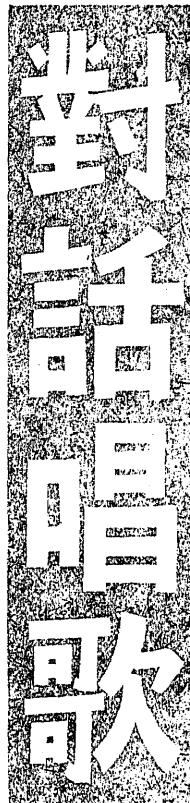
兒童研究所

取次 東京堂

用具全部を製作して
益々斯法使用者の利
便を計ることになつ
た。代價は木型盤な

唱歌劇の龍兒

東京市礪川小學校訓導 水谷式夫先生著
東洋家政女學校講師



定價

各冊 金參拾五錢
郵稅各貳錢

第一編 舌切雀 第四編 桃太郎さん
第二編 こぶごり 第五編 花咲爺
第三編 文福茶釜 第六編 さるかに

以下 浦島太郎、かちかち山等續々刊行

本書の實質は已に／＼皆様御承知の筈。各學校家庭よりの御註文日々殺到重版重版又重版發行以來實に拾數萬部の御買上に接し本書發賣以來類書多數刊行せられたるに徴しても如何に本書の真價の絶大なるかを知る。切に御愛唱を希ふ。

發

賣

東京市芝區
松本町四十四番地

合資共益商社書店

振替東京一五八〇番

本誌は最も平易な、最も教育的な子供雑誌たるべく苦心して居ります。

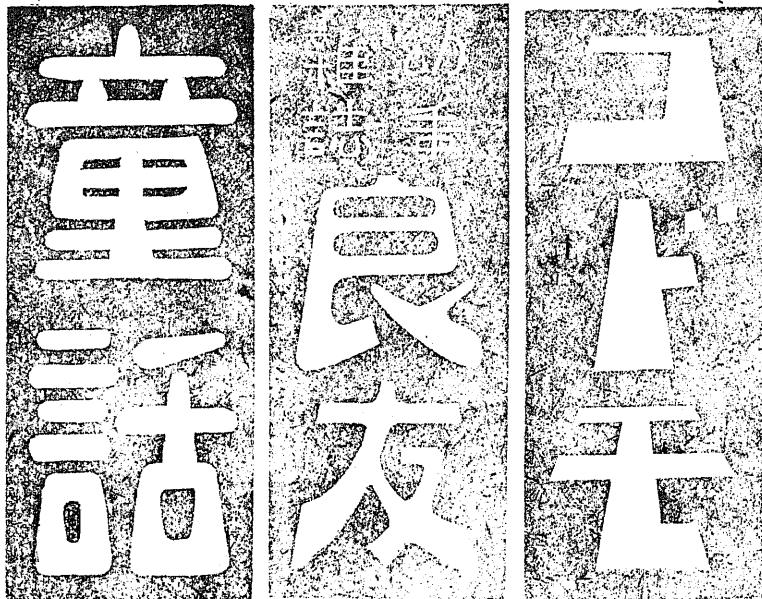
近來子供雑誌や繪本類が非

常に多くなつて、既に二三

十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多く

の同種中、はたして何れを
子弟の爲に選ばるゝであら
うか。



單に玩具と見做して、その
選擇を慢然兒童の取捨に一
任して置いてよいであらう
か。

八一六)話 電 小川石 社モドコ 所行發
ニ一九二)川石小 區川石小市京東地番七十五町林

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雑誌です。

○饑えたる獨逸の子供のために!!!

本誌は、三月號を特に饑餓に頻する獨逸兒童のために獻じました。其後、各方面より同情をお寄せ下さいました。中には「當園の可愛子供の真心を送つて下さいませ」とか「獨逸の子供のお氣の毒な狀態をいつも子供につたへ居ります際三月號の記事を拜見し何か致したいと存じて居りました、幸、二十日、二十一日に子供の成績品展覽會が本校で催されましたので五十名の幼兒が風車を作成して志のある人々に買つて頂きました。其金高がこれです」との御手紙をそへて下さった幼稚園もございました。國と國との提携は、お互の子供等のかたい握手によるのが一番よいと識者もよく申されますが、今度の金が、かうした美しい同情となりました事をうれしく思ひます。この手紙をうけとつた獨逸の子供はどんなに感ずることでせう。尙、御有志の義捐は四月末日まで取扱ふこと致しますから、一口貳拾錢以上、本誌編輯係宛（下谷區花園町一一番地黒瀬艶子）にお送り下されば取まとめて先方にお届け致します。

○第三回全國幼稚園關係者大會

来る五月大分縣に開かる同會における文部省諮詢委員会の如し

◎幼兒保育上改善すべき點如何

幼兒教育

第二十一號

大正十年四月十五日發行

兒童保護宣傳の趣意

日本幼稚園協會會長 湯原元

古歌に、「しろがねもこがねも玉も何かせん子に如

くたから世にあらめやも」とあります通り、誰しも子供の教育を大切に思はない者はありませんが、實際にはいろいろの事情から意の如くなりませんので、不幸な目に逢ふ子供が多いのでございます。小學校にはいる迄の教育はもとより家庭の責任であります。が、然しこの責任を盡しますには、家庭に於て種々の方面に餘裕があることが必要で、之がなか／＼一般には望まれません。某學校の調査によりますと、小學校に入る前に境遇のよい子供は、既に四千からの單語を覚えてゐるといふ事で、之だけ知つてをりますれば、もう立派に世渡りが出来るわけでござります。ところが、なかには覚えてゐる單語の至つて少ない子供もございます。之は全く家庭の事情によることで、其の如何によつて、子供の將來が仕合に

も、不仕合にもなるのです。

幼稚園が近頃ます／＼盛になつて來ましたのは、少しでも子供を幸福にと願ふ爲めですが、實際現在の幼稚園では、この需要に應じ得ません。唯出來ないと云ふばかりでなく、教育の局に當つてをられる人々の中にも、教育と云ふものは、小學校から始まるやうに考へる方もあり、兎角學校の事を云へば、上の方へは世話が届きますが、下の方の即ち凡ての學校教育の基礎となる幼兒期の教育が、怠り勝ちにされ易いのは甚だ遺憾の事を存じます。國家の將來を考へますと、大學の教育よりは、寧ろ幼兒の教育の方が大切であらうと存じます。其處で年來微力ながら幼稚園教育に力を注いでをります私共は、も少し下の方の教育に注意をして頂きたいと世間に訴へたいのであります。

幸ひ此の私共の微力も諸賢に御了解と、御援助を得まして、愈々来る四月二十三日を期し、児童保護宣傳の催しを致す事になりましたから、一般國民の注意をこの點に向けて頂きたいと思ふのであります。

そこで、この目的を達す爲めに、東京市に於ては、先づ第一回の試みとして、宣傳當日は、文部省、内務省の有志の方々を初め、幼兒教育に興味を有せらるゝ教育家、篤志家に御依頼致しまして、市内各所で通俗講演會を催す事となりました、又當日は特に児童保護宣傳の爲めにつくりました印刷物を、全市の児童を通じて、各家庭に配布することになつてります。

勿論、講演と申しましても、時と場所とに限りあることで、ことに、日本全國にむかつては、これだけでは徹底致しかねます。そこで、四月二十三日を期して、各小學校、幼稚園では一齊にこの爲めに力を注いで下さる事をお願ひ致す次第であります。例へば、全國の各小學校では、この半日を児童の爲めに、講話會や、學藝會を催すとか、幼稚園では、幼兒の旗行列を行ふとか、子供を中心とした會を開く

とか云ふ事も、一方法と存じます。然しこの方法はそれ／＼尙一層の御工夫を願ひ、児童の爲めに、この日を覚えて頂き、また、子供を通じて一般國民の注意を喚起して頂きたいと存じます。

要するにこの機會に於て、幼兒教育の大切な事を出来るだけ廣く、世間に知らせたいと云ふ事が、今回企の目的でございますから、之に就て、皆様の御賛成と、充分の御援助とを偏に希望致します。

○驚くべき乳兒の死亡率

日本の大都市で乳兒の死亡する割合は世界のどの國よりも多いです。今、一年間に千人生れる子供の中、死亡する子供の數は凡そ

東京市……………一七一人

大阪市……………二三三人

京都市……………二〇八人

名古屋市……………一八三人

横濱市……………一九三人

神戸市……………一九五人

これを外國の大都市と比較して見ますと、紐育は千人生れる中で、九二人、倫敦が一〇八人です。私共は、児童保護の聲を大にして、短命な子供の少しでも減するようにつとめねばなりません。

新入園の幼児を迎へて

藤井 利譽

○一人一人の發達を

私共は、また、多くの新しい子供を迎へる時となつた。今更、事新しくいふ迄もなく、この子供達は、皆、大切な家の寶、國の寶の一人一人である。幼稚園で、よし三十人、四十人を一つの組にまとめるとしても、それは、便宜上のことで、彼等は團體として一くるめに取扱はれる筈のものでなく、どこと迄も、一人一人として、それ／＼の方向に發達して行くべきものであることを忘れてはならぬ。

○自然にのびて行く力

次に、その一人一人が發達をとげて行くために、何にもないところにこちらからつめ込むといふのではない、彼等は各々の中に力を有して居るので、所謂、衝動的の働きがある。お友達と遊ぶことによつて、子供はその既に有する社交性を満足させる。事

物にぶつかつては、之を考究するといふ力をもつてゐる。即ち種々雑多なる事柄に出會つて、それを敢へてして行くといふ力をもつてゐるわけである。この彼等に固有力、自然にのびて行く力、之を我々は助けねばならない。しかし、助けるといふことは、發達すべきその素質を一層よくその方向に向ふことを出来るよう有助けるといふことであつて、決して教育者自身の抽象的にたてた目的計畫に導く意味ではない。

○環境をこゝのへること

我々は、兒童の天性を充分尊重したく、その發達を助けるのに、植えたての苗を幾度もぬき出して見てかへつて枯らしてしまふといふ愚をしてはならぬが、しかし、自然の發達といふことは、これをたゞ自然に放任しておけといふことではないと思ふ。此處に教育者の力の加はるところがある。彼等は、も

とより、自然に發達する力を有してはゐるが、之をたゞ放任しておけば、間違つた方向にのびるとか、又は全くのびないで終るといふことのある。それ故、彼等の有する力に障礙を與へるものとのぞくこと、また、積極的に之を導くことが必要である。そこで、この場合最も大切なことは、幼稚園に於ては、児童の周囲をとゝのへるといふ事である。この周囲、環境はまた自然の方面と人事の方面とにわけて考へられるが、自然の方面の要素としては、幼稚園の内外の設備を整理を正しくし、美的にして行くといふことである。遊園地のごときも成るべく自然味の多いものでありたい、この自然の環境の内に入つてこれを味ひ得るようにせねばならぬ。次に人事の方面から云へば、もとより保母その人の人格といふことになる。暖かい感情と、つよい意志とが必要である。こゝに、大に考へねばならぬことは玩はない幼童を取扱ふのに、文字や數を教へるのではないので、つひ、遊び相手といふ位の考から特別に修養もいらぬと思ふ人があるかもしだれぬ。しかし、人間が人間として貴くなり氣高くなるといふことは、たゞその仕事の経験をくりかへすだけで出来るものではない。

たえず自己を向上進歩させるために、知識をもとめたり。そして書物に親しむといふことはここに大切で其處から己れの感情意志をみがき、ここに幼児の教育方法はたえず研究をかさねても尙たらぬものであるから實際自分のしてゐる仕事を批判する上に、またその基礎になる理論を研めることを忘れてはならぬ。経験もとより貴重であるが、たゞ平凡に十年も二十年も、惰性的にくりかへしたのでは進歩はない。幼児の心理、衛生、手技、手工の原理の考究など、なすべきことは多々ある。砂場で遊ばせるにも、積木をさせるにも、何でこれをさせるか、先生の頭には確とした根柢がなければならぬ。たゞそこに砂場がある、積木がある。子供が遊ぶからそのままさせるのはいけない。それは子供の方では勿論遊びそのものが面白くて遊んでゐてよいが之を指導する先生は、何の考もなしに、今日もまた砂場に子供が走つたから傍でこれを見てゐるといふのでは無意味である。それでは幼児の教育の方法が進歩しない。今日迄、どうも幼児教育のことが遅々として著しい發展をしないといふのも、その責任はたしかに

先生自身の努力。——全體の進歩のための考究に對する——がたらなかつたと云へようと思ふ。無反省に生活をくりかへしてゐては發展するものではない。

○家庭と社會

幼兒は各家庭の一員であるとともにまた大きく國家社會の一員である。そのうくる影響も決して家庭からばかりではない、また幼稚園からばかりではない、その兩方が相俟つて、更にひろくその環境が之と合して、少しい頭にいろいろの刺戟を與へるのである。それ故に幼稚園の先生が、自分の園の内にたてこもつてゐただけでは何にもわからない。家庭の研究といふことが必要である。家風の如何、その中に住む人々の心持如何といふことをよく承知して、幼児によい影響あらしめるよう、陰に陽に力をつくすべきである。更にその地方全體の空氣如何もたえず心にとめて、少しでも改善するようにと心掛け、かくて幼稚園の存在する周圍の、その大きな社會にも、たゞひ徐々でもたへず刺戟をあたへて行かねばならぬ。社會狀態の研究といふことはまことに大切である。

つまり、今日の幼稚園教育は、家庭の整頓した、境遇のよいものに施すといふことよりも寧ろ家庭の行きどりきかねるもの、そうした家の集合した社會のうちに育つものゝために一層必要なこととなつて來たのである。近來託児所、保育園といふ名のもとに、この方面の事業が盛になつて來たのは誠によろこばしいことであるが、こうに働く保育者にその人を得るといふことは大切で、これが當を得なければかへつて害を將來にのこすおそれがある。

要するに、私共は、この新しい學期に多くの新しい園児を迎へて、たゞまた前年のこととくりかへして居るといふのでなく、前述のよくな各項に心を用ひて、ひろく深く頭をはたらかせて、今年は一層進歩をさせようといふ覺悟がありたいと思ふのである。

遠足に携帶品

医学博士 竹野芳次郎（談）

春にはお子様達が御母様につれられたり、或は學校の先生方につれられたりして、遠足をなさる事が多くなります。折角面白い遠足でも、もしお子様方が途中で怪我をなすつたり、或は腹痛みをおこしたりしては、遠足の興味はすっかり心配に代つてしまひます。これから遠足に是非持参して行かなければならない。簡単で然し必要な衛生道具をすこしばかりお話して置きます。

遠足でお子様達に起るのは、足の骨を折るとか、脊中の骨を折るとか云つたやうな大怪我ではなくつて、一寸とした切り傷、すり傷をこしらへることが多いのです。傷の手當に使用する爲に、先づ綿帶「ガーゼ」脱脂綿、五十倍の硼酸水、絆創膏、デルマトル等です。デルマトルと云ふのは、黃い粉で、傷をして出血した時、其の粉をぬりかけますと、デルマトルは皮膚を乾燥する作用があるのですから、傷の部分が乾いて、從つて出血も止まる事になる

です。傷の手當として、石炭酸、昇汞水等はなるべく持参しない方がよいのです。石炭酸は劇薬でありますから、小さな傷に用ひては却て害する事があります。もし、昇汞水は醫師が手を洗ふて消毒するに用ひるもので、矢張り劇薬です、遠足等では、傷の手當をするに、嚴重に手を消毒しなくてはならないやうな大怪我は起りませんし、若し、小さいお子さん達が過つて昇汞水を口にされたりしては、それこそ大變な事になりますから、御持参なさらない方がよいと思ひます。硼酸水は、石炭酸や昇汞水の役目を充分致します。林檎を食べやうとして、ナイフで指を切つたやうな場合には、硼酸水で消毒し、もし澤山出血してゐるやうでしたら、デルマトルを振りかけ、ガーゼをあて、亞麻仁油紙をそへて、綿帶をして置けばよろしいのです、こんな時に、綿帶の仕方を心得てあると居ないとでは、大變な手當の上に相違があります。ナイフで指を一寸切つた位なら何

もそんなに綿帯にむづかしい事はありませんが、それでも綿帯のかけ方がわるいと、ずる／＼とはづれて来て、お子さん方に迷惑をさせますから、餘程氣をつげてしなければなりません。家庭の母親達も、又幼い子達を毎日導く先生方も、常に綿帯のかけ方とか、應急手當とかは、常識として練習をして置く必要があります。石につまづいて足をすりむいたと云ふ様な、傷は、よく土をおとして洗つて、硼酸軟膏をぬりつけて置けばよろしいです。

遠足の時には、怪我するよりも、靴をはいて長く小路を歩いたので、底豆が出来た等と云ふ事は、却て多いものです。底豆は、早くつぶして、硼酸軟膏をぬつて置いた方が、治りが早うござります。子供は、底豆が出ると、ひどく痛いのですから、中々つぶさせませんが、よく云ひきかして、つぶすのに痛いものではないから、却てつぶした方がよくなるからと教へて、手當をしてやつた方がよいのです。又餘り歩き過ぎて、足がはれたり、痛んだりする時は、10%のエスチオール、アルコホルを、脱脂綿につけてぬつてやり、油紙をあて、綿帯をして置きます。次には遠足にはよく起る腹痛や、はきくだしです。

私がずつと以前の事ですが、ある學校から依頼されて遠足につきそふて行つた事があります。すると子供さん達は、大きな袋を重たさうにひつき、お互ひに自慢さうにしてゐるのです。そしてその袋の中に何がつまつてあるかと云ふと、お饅頭やら、落花生やら、まるでお菓子屋の店のやうな御馳走の様々が表れました。そしてあたにはこれをお上りなさい、これを差上げませうと、互ひにやりとりしてゐたのを見ました。これが腹痛や、はきくだしの原因になるのです。この根本原因をすつかり改めなくつては遠足のある毎に、いつも腹痛や、はきくだし始めたへないわけです。遠足で常に歩いたことのない遠い路を歩いて身體が疲勞し、水分が缺乏してゐる時に、さう無闇みに食するのは、胃腸の働きを害するが故に、食事も注意してお腹のすいたのにまかせて矢鱈に食してはなりません。まづ腹痛や吐きくだしお薬としては、重曹とクミチンキ、單舍利別コロダイン等を用意して持参します。コロダインには、はつきりとは解りませんが、モルヒネが含まれてゐるやうに思はれます、腹痛には大變よくきく薬品です、二三滴水に落して飲むのです。重曹は、茶飲み

茶碗一杯に茶匙に軽く半分入れ、クミチンキを十滴位おとして、若しにがいやうでしたら單舍利別を入れて、甘味をつけて用ひます、この分量は十歳前後の子さん達に恰度よい加減ですから、幼稚園に通ふて居られる子供達には、この半量位にすれば結構です。それから腹痛の時に用ひる爲に、湯タンボを用意してゆけば、尙結構です。湯タンボも、荷にならやうな大きいのでは、携帶に不便ですから近頃出来たゴム湯タンボですと、小さく折りたゝんで持ち歩く事が出来ますから、便利です。お腹が痛み出した時には、近所の百姓家などにやすませて、湯タンボを用ひて暖めると、直ぐ治る事があります。

又春の草がのびて來ると、蟲が澤山野山にゐて、可愛らしいお子さん達の足を刺します。蜂やブヨーに刺された時には、アンモニアがよろしいです。薬品屋に行つてアンモニア水と云へば、直ぐ用ひられるやうにした罐づめのが求められます。蛇にかまれるやうなことは、東京近郊には餘りありませんし、又遠足を催す時には、注意してそんな恐れのあるところには、小さいお子さんの事ですから、連れて行かれない方がよろしいと思ひます。蛇にかまれた時は、

毒が全身にまわらぬやうに、早く傷口に近い所をかたくしばつて、血液の循環をとめて置いて、醫師の手當を待たなければなりません。かまれた傷口をいたつてゐると、却てその爲に毒がまわり易くなりますがから、決して猶豫する事なく、血液の循環をとめる手當をせねばなりません。

これは遠足に行つた折に起る事ではありませんが春になると毎年のやうに、市内には狂犬にかまれる方が澤山出て来ます。狂犬にかまれたな、と思つたら、矢張り蛇の時と同じやうに、かまれた所から、毒が全身にまわらぬようかたく紐か何かで結はいて置いて、近所の醫師の下にかけつけて、豫防注射をして置けばよろしいのです。豫防注射は、狂犬病の血清を體内に注射するので、それに依りて抗毒素を體内に發せしめ、狂犬の牙より侵入した毒に抵抗せしめるのです。

先づ遠足にお子様を連れて行く注意としてはこんなものです。遠足から歸つて来ましたら、入湯をさせ、疲労を癒やし血液の循環をよくして、睡眠を充分にさせます。かうして疲れを療せば、遠足の效能は尙一段ある事になります。

子供のためのサンマー・カーテー・ヂ

彰榮幼稚園東京保姆傳習所長

バチエラード・オヴァ・アーツ
石 原 君 子

私が常に切に望んで居ります事は、都會の子供達にどうにかして自然に親しみ得るやうにしたい事です。都會に住む子供達は、見るもの聞くもの悉く人工的なもので、電車自動車に絶えずおびやかされて居り、春になつても青々とした、ほんとに野生らしい樹木を見る事も出来ないと云ふ様です。勿論唯

今の文明に對して、子供の時から相當の理解と親しみを思つて育つことは、成長してからの社會生活の上に便利のある事であります、それにしても文明に接觸する機會は段々に大人になるにつれ多くなるものですから、小さい子供達には矢張りひろぐした野趣の中に育てたいと思ひます。米國あたりに置きましたは、私が見た範圍に於ても、大層この點に注意して、都會生活から子供を救ふ爲の色々の社會事業が發達して居ります。富豪の方々はどうしくお金をして、一流の研究家の意見を参考として、

景色のよい田舎に、子供達の遊園を造り、或は寄宿舎を建築して居ります。日本では近頃このやうな考へを懷かれて實行して見ようか等と思つてゐる方も聞きましたが、まだノヽこの種の事業が社會に必要を宣傳されてないのを遺憾に思ひます。

私は歸朝致しました以來、米國あたりの大規模の眞似はとても出来ませんが、どんなに小さくともよいから田舎で都會兒童を毎年靜かに休めたいと思つて居りました。それで私は自分で長野縣の方へ出掛けました。それで私は自分でも長野縣の野尻湖畔を選び五千坪餘の土地を買ひ求めました。この長野縣の野尻湖畔と云ふ所は、一度其處に足をふみ入れたならば、とても忘れる事の出来ない程の美しい土地で、或人はバラダイスの次のやうだとか、或は日本のスキス等とほめて居ります。山に囲まれた湖水の水の青々として美しい事、又その湖水に影をうつしてゐる山々の生き／＼して

あること、此處へ塵と騒音から都會の子供達を救うてつれて來たならば、と喜びを以て私の胸は踊りました。私共が買ひ求めた土地は今申し上げた通り、野尻湖畔の城山と云ふ所で、信州相原驛から約一里の所です。初めこの土地の持主は利にさとくつて中々私共のやうな者に土地をゆづらうとしませんでしたが、色々と目的を語り個人の別荘地にするのではなく、公衆の爲めに使用するのであるからと、種々運動した結果やつと手に入れる事が出来ましたので、大層喜んで居るわけです。この五千坪餘の土地に、米國邊によく見るサンマー・カテーデ風に、軽い洋館の建築物を建てたい積りで居ります。サンマー・カテーデを建てる所は、湖水を見下した山の上にあたつて居りますので、夏等はカテーデの窓から湖水の水がひた／＼と波をよせて岸にうつのを聞く事が出来ませう。サンマー・カテーデは緑色のうすいのや白い色やで、明るく涼しく、簡単な家屋にしたいと思つて居ります。其處に有志の御家庭のお子さん方を、お母様か御姉妹方が御同伴でも結構ですし、またお子様方だけでも御安心なすつて、私共におあづけになつて、一夏を送らせると云ふ事にします。西

洋婦人でよく日本の習慣にも馴れて居られる方を數名お誘ひして、行つて頂くつもりです。これは私がいつも實行したいと思つてゐる語學の趣味をお子様方に養ふ爲です。又持ち運びに便利な樂器類、例へばヴァオリン、マンドリン、ハーモニカ、笛、お琴等の類を携へて、夕方からはサンマー・カテーデに於て家庭音樂會を催します。これも語學の趣味と同じに音樂の趣味を養はせたいからです。語學音樂のやうなものは、幼い子供の時から、勉強と云ふむづかしい形式をとらなくつても、自然にその中にひたつて行きましたらば、その子供の精神の美しさをまし、大きくなつてからは色々實際上の助けとなる事は申すまでもありますまい。知識階級の御家庭で英語、佛語、獨逸語等が、朝夕の食卓で話され殊にお母様方が語學に堪能である場合には、その御家庭のお子様がかたこと交りの中から、色々の言葉を耳にし覚え、大人が苦心して勉強するところを遊びながらに知つてしまふと云ふ事は度々見る事です。それで私共のサンマー・カテーデにも外國婦人方をお招きして、山にのぼれば樹木の名を英語で教へ、野原で花をつめばその花について英語で簡単な説明をすると云ふ風

に致しましたら物真似の上手な何でも早く覚える子達は、きつと一つ二つの言葉は難作もなく言ひ得るやうにならうと思ひます。又音楽についてもさうです。私共の幼稚園に來てゐるお子さんの中に、小さいお嬢さんで、それはそれはピアノが上手な方があります。音楽の先生を御家庭に呼んでお習ひしてゐるのかと思ひましたら、お母様が大層ピアノがお上手で、なぐさみ方々そのお嬢さんに教へられたと云ふのです。腰掛に足もとゞかぬ程の小さいそのお嬢さんが、マーチを彈くと、他の子供達が大層よろこんで手を振りながら、足拍子を高くして、勇みながら遊戯をして出て来ます。これを見ても、音楽がどんなに小さい子供達に好まれ、そして又容易に習ふ事が出来るかわります。サンマー・カテーテに於ては、家庭音樂會を盛に催して、子供達もお母さん方も入り交つて、山間の夏の夕べを楽しむつもりで居ります。又この野尻湖畔は村の人々が益踊を盛にする所ださうで、その益踊の研究等にも力を盡して、もし子供達に適用するやうに改良が出来たら、そんな事もさせて見たら、都會の子供にはきつと田舎の趣味がわかつて、興味多い事と思ひます。

私共がサンマー・カテーテで都會の兒童に田園趣味を養ふのは、都會兒童の利益ばかりでなく、田舎の子供達を、又其の村の人々を教育し、文化に導く事

にもなる事と思ひます。その爲めに、鎌倉あたりの土地を選ばずに、信州の山奥へと目ざしてまゐりましたのです。鎌倉邊はもう別荘地になりきつてしまつて、田舎のほんとの味ひと云ふものもなく、都會の風があまりに入りこんでゐます。信州の野尻湖の近所は未だ／＼原始的なおもかげがありますから、其處ならば都會の兒童にわからない生活があり、又田舎の兒童が知らない事を、都會の兒童から學ぶ事が出来ようと思ひます。自動車が毎日門前をめまぐる走つてゐる様な、繪本で見てゐるやうな空ゆく何層かの建物が實際ある事。都會の幼稚園では今頃何の遊戯をしてゐるか等と云ふ事を田舎の子供達に話して聞かせ、又田舎の子供達はどうしておたまじやくしが蛙に成長するか、どうしてお米が出来るか等と云ふ事を話して聞かせるでせう。違つた生活をしてゐる二人の子が互に話し合ふ事はどんなに樂しく、又爲になる事かわりません。子供時代の生活に變化を與へ、美しい夢を幾つもこしらへさせたと云ふ事だけでも尊ひ事ではありませんか。

只今野尻湖畔は未だ春が訪れず、厚い／＼冰をわかつて、その穴の中からお魚を取りに、村の人々が釣しに行つて居ります。それで建物を建てる準備には未だ時節が早うございますから、春がぼか／＼と信州の山々に訪れる頃、私はもう一度参つていよ／＼準備に取りかかるつもりで居ります。

米國視察談

大森安仁子

左は、新宿淀橋有隣園長大森安仁子夫人の米國からのお土産話の大要であります。大森安仁子夫人は、昨年二月渡米され、満一年の米國視察を終へられて、三月九日歸朝されました。

私が米國では故郷ニュージーランドに主として暮し、久しく相離れてゐた親類知人と逢ふて、楽しい米國の生活をいたしました。その傍らこの土地の幼稚園事業や社會事業や婦人の活動等を調べてまゐりました。ニュージーランドにも、又クリーヴランドや、オハイオ等は、近頃新しい試みとして、ベビー・クリニックと云ふ一種の施設が盛に行はれてある事です。ベビー・クリニックは日本語で何と云つたらよろしいでせうか、適當な譯語があると結構ですが、まあ幼い子供達の衛生相談所のやうなものです。ベビー・クリニックの建築物は堂々として、一般的の病院のやうな組織になつてゐます。小兒科の醫師、育児に馴れた看護婦等が多數居りまして、身體の弱い子供、病氣に罹つた子達は、母親につれられて、此處に診察して貰ひに來ます。さうすると醫師はたゞ薬をや

る事ばかりせず、どう云ふ點でこの子供は發達が悪いか、どう云ふわけでこの子は病氣になつたかと、詳細に母親に注意して聞かせるのです。それですから母親は、この注意に依つて、自分の育児上の不履行な所をはつきりと了解させられますから、二度とさう云ふ過ちに陥るやうな事はありません。貧しい家庭の子供には勿論無料のベビー・クリニックが諸所に設立されてあつて、寒い冬の頃貧しくて充分著物をきぬ爲に風邪におかされてゐるやうな可哀いさうな子供には、暖い著物もただで與へる位にしてあるのです。私は子供を健康に育てる上に大層有益な設備と、つくづく感心して見てまゐりました。私共の有隣園の子供達にも、経費が許す限りベビー・クリニックを設けたいと切に希望致して居ります。

ニュージーランドではグリニッヂ・ハウスを訪れました。グリニッヂ・ハウスと云ふのは、私の友人シムコウイチ夫人の經營してゐるもので、子供達に一種の美的

教育を授ける事を主義とした幼稚園です。このグリニッヂ・ハウスは目的が目的だけ設備が總て完全で立派で、壁には美しい草花や名畫が飾られ、教室の窓からは眺め美しいお庭を見る事が出来るやうに、總て見るもの聞くもの、美に對しての讃美を子供の心に起らせるやうに組織されてあります。子供達は心地よい室で、彫刻する事を學び繪を畫く事を學び、歌をうたひ、詩をよみして、一日を楽しく過すのです。小さい子供達は、お互に自分のお友達をモデルにして、粘土の彫像をつくり、幾つも教室に並んでゐるのが見えます。又花瓶や、水呑や、お茶碗等を粘土でつくつてゐる子供達もあれば、女の子なら造花をつくつたり、刺繡をしたりするのも見受けます。日本には未だかう云ふ傾向を有した幼稚園のないのが物足りなく思はれます。白い紙のやうな純潔な子供の心に、美しいものに對して、美的情操と云ふやうなものを養つたならば、どんなにか成人して粗雑な社會生活に對する時の、よい準備ともなりませう。

又子供達にお伽劇と云ふものを盛にさせて居ります。米國の法律では、少年少女は公衆の前に出て舞臺に立つ事は許されて居ませんけれど、極く上品に

子供の父兄を觀客として、學校等にて行ふ對話劇の程度のものなら、到る所に行はれて居ります。紐育に於て子供達のステーデを備へてゐるのは、富豪のユダヤ人達の經營してゐる、エジュケーションナル・アライアンスです。此處には立派なステーデが設けられてあつて、種々の新しい童話劇が絶えず出演されてゐるのであります。又米國に於ては子供に圖書館を應用させる事が非常に盛に行はれてゐて、圖書館の兒童室はいつも子供達で一つぱいになつて居ります。東京には日比谷圖書館の兒童室のやうな設備が至る所の圖書館に備へられてあります。それから米國の幼稚園は語學に非常に重きを置いてあります。これは米國のやうな多くの外國人が寄り集つてゐる國に於ては、小さい子供達に米國の生活に親しませる爲に、どうしても英語を教へなければならぬのです。それですから外國人の子供は幼稚園に通學する事に依つて、將來成人してから一の米國市民として生活する準備をするのであります。

日記の一ふし

や よ い

記念すべき大正十年三月三日！此日日本皇太子殿下には軍艦香取にていとも目出度御渡歐の途に就かれらる無心の幼兒等も我等と共に謹みて御安著を祈り奉りました桃のお節句も一しほ喜ばしき心もて迎へられました。

遊戯室の正面には雛段をつくりお雛様を飾り子供等の心こめたる紙のお菓子をも供へました。午前十時より幼兒等は皆愉快氣な顔をして茲に集ひ此日の主人役丁子娘の挨拶、客人としてS君の答辭あり、次から次へと交る交る出てゝ勇ましく談話唱歌遊戯獨奏等を致しました。最後に園長先生の御話があり

先生には此朝お早く御出園總代として殿下を御見送りなされました故、其の實況を委しく御話下さいました。其れより辨當を済ませ、食後思ひ思ひにおひなさまの許に集りいろいろの遊を致しました其の中謎々の遊に付て子供等の申しました事を二三記して見ませう。

一、朝早く起きお早うと云つて顔を赤くし夕方さよ一ならと云つて又赤くするものは、？：

……太陽。

二、形の見えないでサー／＼と云ふ者は？……風

三、雪が降ても雨が降ても赤くなつて立て居る者は？……郵便函

四、吸はれて擲かれる者は？……煙管。

五、仕舞て置けば小さくなり出せで大きくなる者は？……掛軸。

六、夏になり土中より出てゝ人を刺す者は？……蟻。

七、朝早く起きて唱ふものは？……鶴

八、白粉つけて竹馬に乗て居る者は？……

くしがき。

九、早く起きて働く者は？……女中。

一〇、いつも水の上に住む者は？……船。

午後はお豆炒を紙製の箱の中へ入れて與へました。

皆様に聞いていただきたいのは？

か
み
さ
ほ
み

私共は毎日（）、幼稚園へ参るりまして、可愛い子供から先生と呼ばれ、母親からはどうぞお願ひしますご心から？はた形のみか、兎も角も信頼されて居りますがその幼兒を如何に教育すればよいかといふ事については實は内心には云ふに云はれぬ不安を感じつゝ誠に覺束ない生活をつづけて居る者で御座ります、私共は毎日子供から「あなた」は物足らぬ所がある、「あなた」はまだ（）御存じのない所がある、もつと（）あかるい、うるはしい「あなた」が欲しいと云はれる様な心地がしてなりません。

私共は此の刺戟を受けた時ほど苦しい事はないのです、斷腸の思ひとは此の事でせうか、過去に受けた講習の筆記を繰り返して見る事もあります、小兒の研究を記した書物を縒いて見る事もあります、時にはなる程と合點する事もあり、つくづくと自分の足りない事を感ずる事もあり、また研究をする

書物の少ないのを慨くこともあり、指導して下さる方の手近かにないことを嘯つこともあるのです。

併しこれなどは自分で自分を鞭つたり、工風をしたりして努力を致しますれば時に光明を認める事もあり自分で自分の心に満足を與へる事が出来るので茲に幼兒の爲めに渾身の力を盡して爲し得る時の愉快さは又一段の嬉しさと勇氣とを奮ひ起す事が出来るのですが、一番私共の苦痛とする所は、爲し得る事がある事情の爲めに幼兒の教育に障礙を來し進歩を妨ぐる様な事が毎日（）頭に響く時ほど口惜しさを感じる事はありません、内心悶々として居ても立てる事は居られぬ事が時々あるのです。

この煩悶を何んとか自分で解決して見たいと考へて同じ煩悶に悩まされて居る同僚と一夜語り合ひましたが解決はさておき、ます（）混亂するのみです、

具體的に不可解の問題が互に交換されるのみです。

誰か私共の心情を察して救つて下さる方はないか、

とも考へて見ました、不明の私共には其人を知り得

ません、苦しみの極に達して一策を案出致しました

それは幼兒教育の誌上に訴へて皆さまのお指導を受

けることです、同情ある皆様、私共の内幕を世上に

持出して皆様に不快な感じをおさせ申さうとするの

ではなく又別に野心あつて申上げる様な卑劣な心持

はいさゝかもないので、唯こゝに心情の一端を披

瀝して御教へをいたゞきたい慰安を與へていただき

たいといふ事より外に何にもありません、どうぞ其

點をお汲み取り下さいませ。

さて私共の園は百五十人の幼兒を園長さんと四人

の同僚の方とで保育いたして居ります、園長さんは

矢張婦人で御経験のあるお方です、私共二人は五人

のうちで一番若いものです。

毎朝園長さんの御出勤のときは、保姆は今迄見て
居た幼兒を振り捨て、立闘に出迎へて草履を揃へ
る、履物を片付ける、お荷物を受取る、それはく
大變です、私共兩人は幼兒を見るのが大切と存じま
すから二人で交番に出迎へをするのですが、これが

大いに御機嫌を損じて居ります。

園長さんは部下の私共には隨分厳しく高壓的ですが、外交は中々御上手で有力者とか財産家の保護者には實にえらい手腕を持つて居られるのです、それに中產階級以下の父兄と以上の方とは其區別のあまりに明らかさには驚き入ります。組分けをするにも遊戯會に演じます子供の選擇にも必ずこの標準が伴ひますから。私共の心は穏やかには濟まされません。

何か計畫を話されました時に、それに對して意見を申上げると一擊の下に叱り付けられ六ヶ敷い目で御覽になるので、私共の様な氣の小さいものは震へてしまひます、又園の主義方針など伺ひましても何時も合點の出来る事はなくて益々疑ひを増す計りです質問などうつかり致しますとそんな心持で伺つたのでないのに變にお取りになつて「此頃の若い者は生意氣で口計り達者だ」と仰せらるゝので二度と聞くわけに参りません、隨分教育的でもない、幼兒に不適當で、却てわるい弊害を幼兒に與へはすまいとひやゝはらゝする事が度々あつても之れに對して一言でも申せば大變な事になるのです、殊に

同僚の内でも御機嫌取り専門で、家庭に迄行つてお洗濯やら縫物やらお使ひをして、それで縁をつないで居る方が、そばからちよい／＼口を出されるので益々六ヶ敷くなるのです。

保護者の參觀や、視學の巡視、町長さんのお出でのときは平常の保育の仕振りではいけませんので、殊更に飾られたものでなさねばなりません、丸で幼兒に虚偽を示す様なもので、敏感な幼兒達は「やあ今日はお客様があるから又あれだらう」探し先き走りをしますので私共は衷心から恥づる場合も少なくないのです、講習があつて私共が出たいと思ひましても、思ふ様に出して下さいません、他から聞きましたのに、はあなた方の園長さんは「部下を講習に出すと園の事をいろいろ喋べり散らすからそれで出さない」と仰せられましたよとの事です。

幼兒教育は設備が大切だと申す事ですが、積木は二十年も前のもので恩物も皆其通りで近頃の新らしいものは一つもありません、共同の大積木もなければ滑り臺もなく唯不充分な小さな砂場と二人掛のぶらんこがあるだけです、これで私共が完全に幼兒の教育が出来ませうか。

云はふと思ふ事は壓迫されて申出る事も出来ず、云へば氣色を損する計りで見す／＼わるいと知りつ致さねばならぬ、この様な園が他にあるでせうか、皆さまが御自分をかゝる園に於いて勤めると御考へ下さい、實に私共の苦しい境遇が分つていたゞけませう、まして保母室の空氣は冷たいのです、保育の源泉とも申すべき其室が、にらめつくらでは、私共の氣分がどうして春の様になれませう、其いやな氣分が幼兒に感じはせまいかと心配するのです。

それなら其園を辭したらよいのではないかと仰せらるゝお方もありません、私共二人は其町に育つて其町のお世話になつた關係がありますから、遂に今日になつたのと、幼兒の事を考へるとやめる心も鈍ぶるのです、かやうな事情の間に處して行つて少しでも園児のためになる様に致しますはどうすればよいでせうか。

次に苦しんで居ります事は、自分の力の足らぬ事です、打あけて申せば私共は高女を出た計りで保母になつたのです、ある時は教育學の本を買つて讀んだ事もあります、心理學を見た事もありますが、保育に適切なものを探しましてもよい本が見つかりま

せん、東京へない／＼二度講習に出て聞けば聞く程六ヶ敷くなつていよ／＼分らなくなりました、本は

なし聞く人もなし、何んによつて自分を研きませうか、保姆はどつらい者はないと思ふ事がたび／＼です、併し子供に接しました時の愉快さが私共を幼稚園に引きとめるのです。これが煩悶の第二です。

進歩的に研究的に進まうとすれば上から壓迫されて出来ません、又思ひます、今日の時世は婦人の改善が大切で何事も控へ目にして口を開かず不平があつても表はさぬのが婦徳として居る時代は疾く過ぎ去つたのです、むやみに人を壓迫する事はどの社會でも最早許さぬのに、私共はまだ其弊を脱する事が出来ないのは實に遺憾です、殘念です、この廣い我國保育界にある保姆さまの中には私と同感な方が必ずある事と信じます、私共が男子なら早く組合とか何かを起して大に活動致しますのに、家もちで女子なのですから、思ふ計りで出来ません。何とかよい方法はありますまい。

又自分を力あるものにする爲めには「幼兒教育」にもつと／＼適切な研究や經驗談をどし／＼載せて頂いたら私共大へんに仕合を致すのです、文部省の講

習も保姆の考へを聞いて科目を選んで下さいましたら尙一層效果あるものとなるでせう。

尙こゝに是非願ひたいのは短期の講習でよいのですが地方の所々に開いて、私共の學力を進めていただきたいのです、私共の縣の理事者も師範校長も視學の方も幼稚園教育にあまりに冷淡です、私共が参りまして何かお願を致しましても重く聽いて下さいません、小學校の先生は幼稚園がお分りなくて唯小學校がゑらいものゝ様に考へて、學齡前の子供は教育の必要なしなどゝ暴論を吐かれことがあります、保姆の位地が社會に認められないでの、いろ／＼の困難があるのです、將來は保姆の學力を進めて資格を高めていたゞき小學校の先生と同等にして頂きたいと存じます、そして全國各縣の保姆が協力して事に當つたら、ほんとうに此上ない愉快な事で又幼兒教育上必要な事と存じます。

あまり長く紙上を汚すと申譯が御座るませんからこれにて。

傳染病豫防及消毒法

東京女子高等師範學校醫同

現行文部省令ニヨル學校傳染病豫防及ビ消毒法

第一類 甲

痘瘡及假痘、實布蛭里亞、猩紅熱、發疹空扶斯、ベスト、

第一類

赤痢、虎列拉、腸空扶斯及バラチフス

以上ノ疾病ニ罹リタル職員生徒等ハ昇校スルコトヲ得ズ治癒シタル後昇校セントスルトキハ先づ全身浴ヲ行ヒテ衣服ヲ更メ且ツ醫師ニ

於テ傳染ノ虞ナキコトヲ證明スルヲ要ス。

職員生徒ノ家族又ハ同居者中ニ以上ノ疾病ニ罹リタルモノアル時又ハ學校内ニ傳染病發生シタル場合ニ於テ其ノ患者屍體又ハ病毒污染

物ニ觸レタル時ハ醫師ニ於テ適當ノ所置ヲ施シ傳染ノ虞ナキコトヲ證明シタル後ニ非ラザレバ昇校スルコトヲ得ズ。

生徒通學區域内ニ於テ以上ノ病發生セル時ハ其ノ病況ニヨリ必要ト認ムルトキハ其ノ局部ヨリ通學スル生徒ノ昇校ヲ停止スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ當該學校長ヨリ二十四時間内ニ其ノ旨ヲ管理者ニ届出ツベシ。

學校所在地若クハ近傍ニ於テ以上ノ傳染病發生シタルトキハ下記學

校清潔方法ヲ行フベシ第二類傳染病ノトキハ飲料水ハ煮沸シタルモノヲ用フベシ。

第一類 乙

麻疹、風疹、水痘、百日咳、流行性耳下腺炎、流行性感冒、肺結核、癲病

第二類

傳染性眼炎、傳染性皮膚病

以上ノ病ニ罹リタル職員生徒等ハ病況ニヨリ醫師ニ於テ適當ノ所置ヲ施シ傳染ノ虞ナキコトヲ證明シタル後ニ非ラザレバ昇校スルコトヲ得ズ。

學校ニ於テ以上ノ傳染病發生シタルトキハ其ノ屍體第一類患者ノ用ヒタル唾壺第二類患者ノ上リタル圓房其他障壁・牀疊・建具・廢臺器具等ハ二十倍ノ石炭酸水ヲ以テ消毒スベシ第二類患者ノ吐瀉物其他ノ排泄物ハ生石灰ヲ以テ消毒シ強亞爾加里性反應ヲ呈スルニ至ルベシ。

食器・被服・寢具等ハ煮沸又ハ蒸汽消毒ニ附スベシ消毒困難ニシテ廉價ナルモノハ之ヲ焼却スベシ前記ノ消毒ニ適セザルモノハ「フォオ

ムアルデヒード」ニ依リ消毒スルカ又ハ刷掃シテ數日間日光ニ曝スベシ。

教員舍監等校内ニ於テ以上ノ傳染病若クハ疑ハシキモノヲ發見シタ時ハ直チニ校長ニ申告スベシ。

校長ハ醫師ヲシテ診斷セシメ相當ノ所置ヲナスベシ。
學校内學校所在地及ビ其ノ近傍若クハ生徒通學區域内ニ於テ以上ノ傳染病發生シタルトキハ其ノ病況ニヨリ必要ト認ムルトキハ全校若クハ其ノ一部ヲ閉鎖スベシ。
傳染病ノ爲メニ閉鎖シタル學校若クハ其ノ舍室ハ再ビ之ヲ使用スルニ先チ定期清潔方法ノ各項ヲ施行スベシ。

學校清潔方法

甲 日常清潔方法

一、教室及ビ寄宿舍ハ毎日人ナキ時ニ於テ先づ窓戸ヲ開キ如露ヲ以テ少シク牀板及び階段ヲ潤ホシ掃出シタル後濕布ヲ以テ建具校具等ヲ拭フベシ但シ掃除ノ爲メニ室内ヲ潤ホスハ生徒ノ再ビ之ニ入ルマデニ充分乾燥シ了ルヲ度トスベシ。

二、教室及ビ寄宿舍ニハ其ノ人員ニ應ジ紙屑籠ト少量ノ水ヲ盛レル唾壺トヲ備ヘ紙片其他棄却物ハ必ズ紙屑籠ニ投入シ痰唾ハ必ズ唾壺ニ於テシ決シテ室内廊下等ニ放下セシムベカラズ。

三、寄宿舍内ニ於テハ戸外ニ用キル履物ヲ禁スベシ但シ止ムヲ得ザル事情アリテ特ニ之ヲ許ストキハ適宜ノ方法ヲ設ケテ室内ノ不潔紙屑籠及ビ唾壺ハ毎日之ヲ掃除スベシ。

ニ紹ラザルコトヲ務ムベシ。

四、靴ノ儘昇校スル校舎ノ出入口ニハ人員ニ應ジ靴拭ヲ備フベシ。
五、寢具ハ毎月少クトモ一同日光ニ曝シ被覆寢衣等ハ務メテ洗濯セシムベシ。

六、便所ノ尿溝及ビ注壁等ハ毎日一同水ヲ以テ洗ヒ圓房ハ濕布ヲ以テ拭フベシ檻箱ニハ成ルベク蓋ヲ設クベシ。

七、糞盤内ニハ防臭藥トシテ粗製過満檻酸加里粗製格魯兒満佈(以上百倍乃至三百倍)硫酸鐵、泥炭末、木炭末、乾燥土粉、灰等ヲ撒

布シ期ヲ愆ラズ拂取ラシムベシ。

八、食堂炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ハ時々窓戸ヲ開キテ空氣ヲ通ジ惡臭煙氣又ハ湯氣ノ鬱滯ナキヲ務メ且ツ掃除ヲ怠ルベカラズ殊ニ食堂ニ於テハ毎食前如露ヲ以テ牀面ヲ潤ホシ食後ニハ濕布ヲ以テ其ノ食卓等ヲ拭フベシ。

九、芥葉場ノ不潔物ハ期ヲ愆ラズ搬送セシムベシ。

十、下水ハ常ニ疏通セシメ炊事場、浴室洗面所、洗濯所等ノ下水ハ毎月少クトモ一同大掃除ヲ行フベシ。

十一、庭園、體操場、遊戯場、簷下、樋下等モ亦常ニ清潔ヲ保タシムベシ。

乙 定期清潔方法

定期清潔方法ハ毎年少クトモ一同夏休又ハ其他ノ長休ニ際シ之ヲ行フモノトス。

十二、先づ教室、寄宿舍内等ニ在ル机、腰掛、寢臺、戸棚等ヲ室外ニ出シ戸障子、窓戸等ヲ外シ敷物ヲ剥ギタル後如露ヲ以テ牀板及び廊下ヲ潤ホシ天井、四壁、牀板、廊下等盡ク之ヲ掃ヒ然ル後清水ヲ以テ洗拭スベシ但シ汚染殊ニ甚シキ部分及ビ器具等ハ熱湯水若クハ石鹼水ヲ以テ洗拭スベシ。

十三、簷下、牀下等モ手ノ届ク限リ之ヲ掃ヒ外部ノ羽目及、簷廻リ

ハ龍吐水等ヲ以テ洗滌スベシ

十四、寢具、窓懸、敷物等ニシテ洗濯シ得ベキモノハ之ヲ洗濯シ其ノ洗濯シ得ベカラザルモノハ先づ其ノ塵ヲ掃ヒ書籍文具等ト共ニ

數日之ヲ日光ニ曝シ刷掃スベシ

十五、器具、寢具等ハ總テ室ノ乾キタル後ニアラザレバ室内ニ持込ムベカラズ室ハ掃除後五日以上窓戸ヲ開キテ空氣及ビ日光ヲ通せシムベシ。

十六、牀板、壁面等ニ虧隙アルモノハ此際之ヲ填塞シ風抜穴、煙突等ノ塵煤ハ之ヲ除去スベシ。

十七、浴室、洗面所、食堂、炊事場、生徒控所、雨中體操場、便所、下水、芥薙場等ニシテ破損アルモノハ此際盡ク修理ヲ加へ且ツ大掃除ヲ行フベシ。

丙 浸水後清潔方法

洪水ノ爲メ水害ヲ被リタル學校ハ開校前左ノ清潔方法ヲ施行スベシ。

十八、水ニ浸サレタル校舍殊ニ寄宿舎ノ建具、牀板等ハ取外シテ空氣ヲ通シ且ツ牀下ノ汚物、泥土ヲ除去シ場合ニ依テハ焚火、火鉢等ヲ用キテ充分乾燥セシムベシ。

十九、建具、牀板、校具、腰張等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ洗拭シタル後成ベク之ヲ日光ニ曝シ充分ニ乾燥セシムベシ。

二十、浸水ノ害ヲ被リタル井戸ハ必ず数回之ヲ浚渫シテ汚物ヲ除キ井戸側ハ清水ヲ以テ洗ヒ能ク水ノ澄ミタル後之ヲ使用スベシ。

但シ開校後一ヶ月間ハ必ず其ノ水ヲ煮沸シ飲用スベシ。

二十一、右ノ外定期清潔方法ノ各項ヲ應用スベシ

東京市ニ於ケル學校傳染病

甲 消毒標準

痘瘡及假痘、賣扶蛭里亞、猩紅熱、發

疹「チフス」、麻疹

學校ニテ發病セル場合

イ、發病者教員ナルトキ「教員室、受持教室ノ腰羽目板以下ノ石炭酸

水(二十倍又ハ三十倍)「リゾール」水ヲ以テ拭淨スルコト、使用シタル器具類亦同ジ、但シ拭淨ニ適セザルモノハ刷掃シテ日光ニ曝スコト、兩便所ヲ石灰乳ヲ以テ消毒シタル上直チニ汲取ラシム。

ロ、發病者ガ教員以外ノ職員又ハ使丁ナルトキ「其ノ教室ノ腰羽目板以下教員ノ坐席ノ存スル

室、執務シタル室ヲ教員ノ場合ニ準シテ消毒スルコト。

ハ、發病者ガ兒童ナルトキ「其ノ教室ノ腰羽目板以下教員ノ場合ニ準シテ拭淨スルコト、使用シタル器具類兩便所ノ消毒方法ハ教員ノ場合ニ同ジ。

家庭ニテ發病シタル申出アリタル時。

イ、發病後ノ缺席が二日未満ナルトキハ學校ニ於テ發病シタル場合ト同様ノ消毒方法ヲ行フコト。

ロ、發病後ノ缺席が一週間以内ナルトキハ其ノ坐席及ビ其ノ附近ノ消毒ヲ行フコト。

ハ、發病後ノ缺席が一週間以上ナルトキハ其ノ情況ニヨリテ適當ノ消毒ヲ行フコト。

同居者ニ以上ノ患者アリタル時。

坐席及ビ其ノ附近ノ消毒。

乙 赤痢、虎列拉、腸窒扶斯、

甲ノ場合ニ同ジ但シ兩便所ハ石灰水ヲ以テ消毒シタル上二十四時間

ヲ経過シタル後汲取ラシム。

甲ト同様。

風疹、水痘

坐席ノ消毒ヲ行ヒ(石炭酸水又ハ「リゾール」水ヲ以テ拭淨シ)情況ニヨリ教室ノ消毒ヲ行フ。

本校及附屬校園ニ於ケル傳染病二關スル規定拔萃

一、生徒(又ハ幼兒)若シ左ノ傳染病ニ罹リタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出デ出席ヲ見合セシムベキハ勿論全治後出席セントスルニ當リテモ傳染ハ虞ナキ事ヲ記シタル醫師ノ證明書ヲ學校ニ差出スコト

痘瘡及假痘

實布蛭利亞 程紅熱 發疹窒扶斯

虎列拉 虎列拉
バラチブス ベスト

二、生徒ノ家族又ハ同居人中ニ前項ノ傳染病ニ罹リタル者アル場合ニ於テ生徒ヲ出席セシメントスルトキハ醫師ヨリ適當ノ處置ヲ受

ケ且ツ傳染ノ虞ナキコトヲ記シタル醫師ノ證明書ヲ學校ニ差出スコト。

三、若シ左ノ傳染病ニ罹リタル生徒ヲ出席セシメントスルトキハ其ノ病況ニヨリ醫師ヨリ適當ノ所置ヲ受ケ且ツ傳染ノ虞ナキコトヲ記シタル醫師ノ證明書ヲ學校ニ差出スコト

百日咳

流行性感冒

麻疹

風疹

水痘

肺結核

傳染性皮膚病

癩病

傳染性眼炎

洗面器ハ各自ニ所有セシメ共用ヲ禁ズ。

食器ハ毎回煮沸セシム(少クモ八度以上ノ溫湯ニ五分以上)。

寢室ハ屢々用フルラ可トス。

ベスト、虎列拉、發疹チブス(疑似症ニアリテモ)發生ノ際ハ殊ニ患

者ヲ速ニ隔離入院セシメ休校シ全部ノ健康診斷ヲ行ヒベスト流行時

ニハ驅鼠ヲ行フベシ。

消毒劑ハ千倍ノ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ用ヒ器具、四壁、牀便所等ヲ洗滌清拭シ蓋蓋ハ石灰乳ヲ用ウ疊ハ昇汞水ヲ以テ充分濕ホシ清拭シ

日光ニ四五時間充分曝サジム金屬部ハ石炭酸水或ハ「リゾール」水ヲ用ウ同室ノ者ハ更衣シ被服ハ蒸汽消毒ヲ行ヒ書籍類ハ「ホルマリン」消毒又ハ日光ニ能ク曝スベシ。

肺結核殊ニ開通性ノモノハ直ニ退舍セシメ前記ノ消毒ヲ施行スベシ。

腸チブス、赤痢、バラチブス等ハ疑似症モ共ニ速ニ隔離シ同室者ノ健康診断ヲ行ヒ特ニ便所ノ消毒ヲ嚴重ニスベシ繼發ノ際ハ狀況ニヨリ休校セシメ疑ハシキモノハ速ニ隔離スベシ。
傳染病流行時ノ個人攝生ハ下ニ掲グ消毒ニ就テハ尙ホ學校清潔法及
下記清潔消毒方法ヲ適宜應用スベシ。
調理人、下婢等ハ時々健康診断ヲ行ヒ食物調理ノ際ハ必ず手ヲ清洗セシムベシ。

内務省令ニヨル清潔方法

第一章 清潔方法

第一條 清潔方法ノ要領左ノ如シ。

- 一、傳染病患者アリタル家ニ於テハ殊ニ患者ノ居室其他病原汚染ノ疑アル場所ニ注意シ消毒方法ノ施行ヲ了リタル後掃除ヲ行ヒ其ノ塵芥ハ之ヲ焼却スベシ。
- 二、家屋掃除ノ際牀下ノ塵芥其他ノ不潔物ハ之ヲ取除ケ燒却スベシ。
- 三、傳染病患者アリタル家ノ井戸流、糞所流、便所又ハ芥溜ノ掃除ヲ要スルトキハ消毒方法ノ施行ヲ了リタル後之ヲ行フベシ但シ必要ノ場合ニハ修理改造及び井戸浚ヲ爲スベシ。
- 四、ベストニ對シテハ前各號ノ外屋根裏、天井、羽目板間、牀下等ニ就テ鼠族ノ搜索驅除ヲ行フベシ。
- 五、傳染病毒ニ污染シ若ハ污染ノ疑アル家ニ於テ施行スル場合亦各號ヲ準用スベシ。

第二條 傳染病流行ニ際シ溝渠ヲ攪拌スルハ却テ病原蔓延ノ媒介ヲ爲スノ虞ナシトセズ必要ノ場合ニハ消毒薬(生石灰末者ハ石灰)ヲ投ジタル後浚渫スベシ。

第三條 傳染病ノ流行又ハ流行後ニ於テ清潔方法ヲ行ヒ家宅ノ掃除溝渠ノ浚渫ヲ爲ス場合ニ於テハ濃リニ消毒薬ヲ撒布スベカラズ。

第四條 溝渠ヲ浚ヘタル汚泥塵芥ハ直ニ一定ノ運搬器ニ入レ健康上有害ナラザル様一定ノ場所ニ棄ツベシ汚泥ヲ路傍ニ散逸セシメ又ハ之ヲ堆積スベカラズ。

第二章 消毒方法

第五條 消毒方法ハ左ノ四種トス。

- 一、燒却。
- 二、蒸汽消毒。
- 三、煮沸消毒。
- 四、藥物消毒。

第六條 燒却ニ適スルモノハ左ノ如シ。

- 一、傳染病患者若シクハ死體ニ用ヒタル被服、臥具、片布、便器其他ノ器具等ニシテ甚シク病原毒ニ污染シ消毒後再び用ニ供スル目的ナキモノ。

第七條 蒸汽消毒ニ適スルモノハ左ノ如シ。

- 一、衣服、臥具、片布等總テ絹布、綿布、麻布、毛織物等。
- 二、硝子器、陶器、磁器其他鐵製若クハ木製品類等ニシテ汽熱ニ堪フルモノ。

第八條 蒸汽消毒ヲ施行スルトキハ左ノ各項ニ注意スルヲ要ス。

品、毛皮、象牙、鼈甲、角ノ類ハ物品ヲ損スルヲ以テ蒸氣消毒ヲ避クベシ。

二、被服類ニ蒸氣消毒ヲ施スニハ豫メ袖中又ハ衣囊中ヲ検索シ彈丸、火薬等爆發又ハ發火シ易キ物品アルトキハ之ヲ取出スベシ

又消毒中他物ニ染色ノ恐アルモノ等ハ蒸氣消毒ヲ避クベシ。

三、蒸氣消毒ハ流通蒸氣ヲ用ヒ成ルベク消毒器中ノ空氣ヲ驅逐シ一時間以上攝氏百度以上ノ溫熱ニ觸レシムベシ。

第九條 烹沸消毒ニ適スルモノハ蒸氣消毒ニ適スルモノニ同ジ。

煮沸消毒ハ消毒スベキ物品ヲ全部水中ニ浸シ沸騰後三十分以上煮沸スベシ。

第十條 藥物消毒ニ供スル藥劑竝其ノ用法左ノ如シ。

一、石炭酸水(約三十三倍)防疫用石炭酸三分、普通食鹽五分、水九十二分。

石炭酸水ヲ製スルニハ定量ノ防疫用石炭酸及ビ普通食鹽ニ小量ノ水ヲ加ヘ攪拌又ハ振盪シツ、徐々ニ水ヲ注ギ定量ニ至ラシム

ベシ溫湯ヲ用フレバ溶解殊ニ速ナリトス。

石炭酸水ハ各種物件ノ消毒ニ適ス但シ使用ノ際ハ毎回振盪シ左ノ諸件ニ注意スベシ。

一、屎尿、吐瀉物其他ノ排泄物ニハ同容量ヲ加ヘ能ク攪拌シタル後二時間以上放置スベシ。

二、器具室内等ヲ消毒スルニハ擦拭又ハ撤布スベシ。

三、衣類ヲ消毒スルニハ二時間以上浸漬スベシ。

一ノ二、「クレゾール」水「クレゾール」石鹼液六分、水九十四分。

「クレゾール」水ヲ製スルニハ「クレゾール」石鹼液六分ニ定量ノ水ヲ加フベシ

普通石灰ハ生石灰ヲ得ルコト能ハザル場ニ限り代用トシテ其ノ倍量ヲ用フベシ。

四、格魯兒石灰水(二十倍)格魯兒石灰五分、水九十五分。

「クレゾール」水ハ各種物件ノ消毒ニ適シ其ノ用量及び應用ハ石炭酸水ニ準ズベシ。

二、昇汞水(約千倍)昇汞一分、普通食鹽一分、水千分。

昇汞水ヲ製スルニハ定量ノ昇汞及ビ普通食鹽ヲ定量ノ水ニ溶解シ又ハ昇汞錠(一錠中昇汞〇・五瓦ヲ含ム)ヲ一錠ニツキ水約五百瓦ノ割合ニ溶解スベシ。

昇汞水ハ猛毒ニシテ危險ナリ故ニ貯藏ノ際充分ニ注意ヲ加ヘ昇汞錠ヲ用ヒザルモノニアリテハ「スカラット」又ハ「ゾイレフクシン」其他適當ノ色素ヲ加ヘテ著色シ一見識別シ易カラシムルヲ要ス但シ金屬製ノ器ニ貯藏スベカラズ。

昇汞水ハ陶器、硝子器、木製器具又ハ室内ノ消毒ニ適ス飲食用器具、玩具ノ消毒飲料水ニ滲透スベキ場所ノ消毒及ビ金屬製品、

屎尿、吐瀉物其他排泄物ノ消毒ニ用フベカラズ。三、生石灰末、生石灰ニ少量ノ水ヲ灌ゲ熱ヲ發シテ崩壊スルモノ。吐瀉物其他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ少クモ其ノ容量五十分ノ一ヲ投ジ能ク攪拌スベシ。

石灰乳(十倍)生石灰一分水九分。

石灰乳ヲ製スルニハ「一分ノ生石灰ニ九分ノ水ヲ徐々ニ加ヘ能ク攪拌スベシ其ノ用量ハ吐瀉物其他排泄物等ノ容量四分ノ一以上トス但シ石灰乳ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ使用ノ際ニハ毎回攪拌スルヲ要ス。

普通石灰ハ生石灰ヲ得ルコト能ハザル場ニ限り代用トシテ其ノ倍量ヲ用フベシ。

四、格魯兒石灰水(二十倍)格魯兒石灰五分、水九十五分。

格魯兒石灰水ノ應用效用量ハ石灰乳ニ同シ但シ用ニ臨ミテ製スベシ。

五、加里石鹼又ハ綠石鹼。

加里石鹼又ハ綠石鹼三分ヲ熱湯百分ニ溶解シ使用ノ際ニハ加熱スルヲ要ス。

加里石鹼又ハ綠石鹼ハ不潔ナル木製器具、戸障子、牀面等ノ消毒ニ適ス。

六、「フォルムアルデヒード」。

「フォルムアルデヒード」ハ「フォルマリン」ヲ噴霧發生セシメ又ハ適當ノ裝置ニヨリ之ヲ發生セシムベシ。

「フォルムアルデヒード」ヲ使用セントスル際ハ左ノ諸件ニ注意

スベシ。

一 氣密ニ閉鎖シ得ベキ消毒函又ハ土藏造、洋風建物、船舶、

汽車等ニシテ戸扉、窓孔等ヲ密閉シ得ベキ室内ニ非ザレバ之ヲ使用スベカラズ。

二 消毒函又ハ室内ノ容積百立方尺ニ付「フォルマリン」四十瓦以上ヲ噴霧セシメ若クハ「フォルムアルデヒード」瓦斯十五瓦以

上ヲ發生セシメ同時ニ約百瓦以上ノ水ヲ蒸發セシムルノ比例ヲ以テ處置シタル後七時間以上密閉シ置クベシ。

「フォルムアルデヒード」ハ左ノ消毒ニ用キルコトヲ得。

一 土藏造、洋風建物、船舶、汽車等ノ密閉シ得ル室内又ハ室

内ニ定著セル器物等ニシテ他ノ消毒方法ヲ行フコト能ハザルモノ。

二 他ノ消毒方法ヲ行フコト能ハザル貴重品其他ノ物件ニシテ

其ノ内部ニ至ルマテ消毒方法ヲ施スノ必要ナシト認メタルモ

七、「フォルマリン」水「フォルマリン」一分水三十四分。 ノ。

「フォルマリン」水ハ用ニ臨ミ「フォルマリン」一分ニ定量ノ水ヲ加ヘ製スベシ。

「フォルマリン」水ハ家屋、家具、什器及ビ衣類等ノ消毒ニ適ス其ノ用法ハ石灰酸水ニ準ズベシ屎尿、吐瀉物其他ノ排泄物ノ消毒ニ用フベカラズ。

第十一條 消毒方法ノ應用ハ左ノ如シ

一、傳染病患者治療シタルトキハ全身浴ヲ行ヒ衣服ヲ更メシムベシ場合ニヨリテハ溫濕布ヲ以テ拭淨シ入浴ニ代ユルモ妨ゲナシ。

二、看病人病家ノ家人其他病菌ニ觸接シタル者ハ時々若クハ其ノ都度手足及ビ衣服ヲ消毒シ入浴スベシ手足ノ消毒ニハ石灰酸水「クレゾール」水又ハ昇汞水ヲ用フベシ。

三、傳染病患者死體等ヲ運搬シタル後駕籠、釣臺ノ類ハ使用後毎回石灰酸水「クレゾール」水「フォルマリン」水又ハ昇汞水ヲ以テ撫拭スベシ。

四、傳染病患者ノ吐瀉其他ノ排泄物ノ入りタル便所ノ糞池ノ肥料溜等ニハ生石灰末石灰乳若クハ格魯兒石灰水ヲ灌ギ能ク攪拌スベシ但シ便所ハ石灰酸水「クレゾール」水又ハ「フォルマリン」水ヲ以テ消毒シタル後直ニ使用シ糞便ハ一週間ノ後肥料ニ供セシムルコトヲ得。

病毒ニ汚染シタル土地ニハ石灰乳若クハ格魯兒石灰水ヲ灌ギ消毒スベシ。

病毒ノ混入シタル芥溜ニハ石灰乳若クハ格魯兒石灰水ヲ灌ギ消毒スベシ。

水ヲ灌ギ其ノ塵芥ハ焼却スベシ。

病毒ノ混入シタル溝渠ニハ生石灰末、石灰乳若クハ格魯兒石灰水ヲ灌グベシ

五、傳染病患者ノ著用セル衣類、臥具並其ノ病室ニ在ル諸器具又ハ看病人及ビ患者ニ接シタル家人ノ衣類其他病菌汚染ノ虞アルモノハ各物件ノ種類ニ從ヒ消毒方法ヲ施行スベシ。

第八條ノ第一ニ掲ゲタル物品ノ類ハ加里石鹼又ハ綠石鹼（毛皮ニハ避クベシ）ヲ以テ洗ヒ又ハ石炭酸水「クレゾール」水若クハ「フォルマリン」水ヲ以テ拭淨シ若クハ撒布シ又ハ「フォルムアルデヒード」ヲ用フベシ。

第五條ニ掲グ各消毒方法ヲ施行スルコト能ハザルモノハ日光

ハ大氣中ニテ乾燥セシムベシ。

六、患者ノ居室其他傳染病毒ニ汚染シ若クハ汚染ノ疑アル室内各部ハ石炭酸水「クレゾール」水「フォルマリン」水又ハ昇汞水ヲ以テ拭淨スベシ但シ土藏造洋風建物等密閉シ得ベキ室内ニハ「フォルムアルデヒード」ヲ用キルコトヲ得。

消毒後ハ日光ノ射入空氣ノ流通ヲ良クシ乾燥セシムルヲ要ス。

傳染病毒ニ汚染シ若クハ汚染ノ疑アル井戸、水槽等ニハ水量五十分ノ生石灰ヲ乳狀トナシテ投入シ能ク攪拌シタル後十二時間以上放置シ又ハ適當ノ裝置ニヨリテ熱蒸汽ヲ通シ三十分間以上沸騰セシムベシ。

病名	病原抵抗力	病毒所在及感染経路	素因	潜伏期
小赤兒疫痢病	志賀氏 赤痢菌 駒込菌 又ハ異型菌 寒冷ニハ容易ニ コツボ氏	抵抗力ハ略陽チ 二萬倍ノ昇汞水 ○暫時 ニ暫時 ニ直ニ 減死テニ 酸水ニ直ニ 八十度 ノ温湯ニ 五分間 ニ三十分 日光ニ ニハ容易ニ 抵抗及ビ消毒薬ニ對シ 便病毒ハ腸管内ニアリ故ニ主トシテ糞	糞本菌ハ腸内ニ存スルノミナルヲ以テ 糞菌ノ如ク血行中ニ侵入スルコトナ ハ口ヨリス假之バ糞便ノ所置不 保有者ニ觸接セシ際消毒ヲ怠ル等又菌 病菌保有者ニヨリ傳染ス。 病治癒スルモ尙ホ病菌者（保菌者）トハ ノ又ハ菌携帶者（保菌者）トハ 病症ヲ排泄スルモ病症ヲ發セザ 哺乳兒、健康ノ大人ニ少	大人小兒共ニ侵入 腸胃ノ弱キ人ハ侵サレ易 死スルモノ多シ小兒ノアリ但シ急 性迄 三日時乃ト二 多クハ二 至八日 シテ三日乃ト二

實布塙里亞	六十度ノ熱ニ十分	發疹チブス	痘瘡及假痘	麻疹	猩紅熱	風疹
レフレル氏 デフテリア菌 死滅ス	病菌ハ咽頭、義膜、唾液、喀痰等ニア リ傳染ハ患者ニ觸接シ若クハ介立 ルタ場合痰ノ飛染ヲ受ケタル時等	不 明	不明 及び日光ニ抵抗力大ニシテ乾燥 セザルノ如シヨリ容易ニ死滅燥	不 明	不 明	不明
一萬倍ノ昇汞水ニ速ニ	汚染セラレタル器物、被服等ニ觸接シ 有症者勿論潛伏期ニモ傳染力アル	本病原ノ抵抗力ハ熱及ビ 石炭酸ニ對シ略ボ腸チブス菌ノ如シ	病毒ハ痘瘡疱内ハ勿論血行中ニ侵入ス ルヲ以テ全身ニ亘り存ス從テ尿、汗、 唾液、涙液、痂皮等ハ病原體ヲ有ス	病毒ハ血液、鼻汁、喀痰、涙液、皮 膚等ハ患者ニ觸接シ又ハ使用器具ニ 觸接シ又ハ使用器具ニ	病毒ハ皮疹、鼻汁、咯痰、血液、患 者周圍ハ扁桃腺、咽頭、呼吸器稀 タル器具ニ觸接シ又ハ使用器具ニ 觸接シ又ハ使用器具ニ	傳染ハ觸接シ又ハ使用器具ニ 傳染途径ハ患者ニ觸接シ若クハ介立 ルモノトス
シ氣傳染恢復期ニ於テ傳染力強キガ如	十五歳乃至二十歳ニモア多 リキモ小兒ニモ老人ニモア多 乳兒ニハ稀	男・女・老・幼共ニ健サル 一回ニモ感染ハ十數年ノ免	初歲及び二歳ノ児ニ多ク 三歳以上次第減少シ五歳以 上回数次減少シ	モシ麻疹及ビ脱皮時傳染力少ナキ モトシテ小兒十歳以下ニ 多キモ往々大人ニモアリ	モ來ル創傷アルモノハ罹 ハ稀ナリ 一回ニテ免疫性ヲ得再感 リ得ルモ再感スルコトモア リ染力ハ頗ル猛烈ナリ	主トシテ小兒十歳以下ニ 多キモ往々大人ニモアリ
二日乃至十 日	八乃至十 二日	十四日或 十八日乃至 十五日	十乃至十一 日	七乃至十 二日	三十乃至四十 日	三十乃至四十 日

病名	初發病狀及豫後	休校期間	教師ノ注意	豫防及消毒
小赤兒痘	粘液血便、下痢、食機不振、熱發、腹痛、下痢等 豫後十日死後赤痢ハ百人中十乃至二死半數アリス	治癒後約二週迄	夏季初秋ハ小兒ノ病状ノ有無モ ム冷過食ヲ禁取ニ注意セシタ沐小豆、葡萄等ノ果實ニ傾キタルモハアルモ	教患者個人攝生、飲腸胃ノ勞働ヲ避クルコト、飲食物ハ一旦煮タルモノヲ用ユル、汚物又ハ疑アルモノニ觸レタル時ハ能ク消毒スルコト
コーレラ	頻々タル吐瀉、過半不食	病ノ治癒後一二週迄	嘔吐、下痢ノ有無モ、医診受ケシム、流行時ニハ食生活ノ様注意セシム	教患者個人攝生、飲腸胃ノ勞働ヲ避クルコト、飲食物ハ一旦煮タルモノヲ用ユル、汚物又ハ疑アルモノニ觸レタル時ハ能ク消毒スルコト
パラチブス	吐瀉不徐、下痢、熱発、頭痛、腹痛、便祕等アリ又或之	約六週迄	嘔吐、下痢ノ有無モ、医診受ケシム、流行時ニハ食生活ノ様注意セシム	教患者個人攝生、飲腸胃ノ勞働ヲ避クルコト、飲食物ハ一旦煮タルモノヲ用ユル、汚物又ハ疑アルモノニ觸レタル時ハ能ク消毒スルコト
腸炎	ノ月但治癒後二週迄全モケ	ノ月但治癒後二週迄全モケ	嘔吐、下痢ノ有無モ、医診受ケシム、流行時ニハ食生活ノ様注意セシム	教患者個人攝生、飲腸胃ノ勞働ヲ避クルコト、飲食物ハ一旦煮タルモノヲ用ユル、汚物又ハ疑アルモノニ觸レタル時ハ能ク消毒スルコト
シテ不熱知定モリノ頭初	ノ上記ノ症狀ナルモ	ノ上記ノ症狀ナルモ	勿人豫者發生スレバ規定ノ消毒ヲ行フハ心身過勞ヲ避ケガ腸胃ヲ害セザル様	教患者個人攝生、飲腸胃ノ勞働ヲ避クルコト、飲食物ハ一旦煮タルモノヲ用ユル、汚物又ハ疑アルモノニ觸レタル時ハ能ク消毒スルコト
煮沸シタルモノヲ食スルコト	スルコト	スルコト	勿人豫者發生スレバ規定ノ消毒ヲ行フハ心身過勞ヲ避ケガ腸胃ヲ害セザル様	教患者個人攝生、飲腸胃ノ勞働ヲ避クルコト、飲食物ハ一旦煮タルモノヲ用ユル、汚物又ハ疑アルモノニ觸レタル時ハ能ク消毒スルコト

麻 疹	痘 瘡及假痘	發 疹 チ ブ ス	實 布 蛭 里 亞	ペ ス ト
シ他症豫後 ノ結合併合 ノ素因ヲ増ス モノ、不貞其重	スノ前驅症 炎等ノ感冒狀 粘膜ニ疹アリ ク氏斑發生 二三日ノ後顔面 其他ニ發疹	前驅症 嘔吐 豫後 種痘セラモノハ良	突然 筋痛、腰痛 其苦悶高熱ヲ 加答兒等ヲ發疹 豫後數日 死亡數二三十 パーセン	寒戰、發熱、意識混濁、結膜充血、 淋巴腺腫脹、疼痛、心臟、良弱、肺 炎性ノモノハ呼吸困難、胸痛、咳 嗽、眼、不眠
二三回以上入浴後登校	六一八週	病經過後二三週 健康	菌ノ消失スル迄約三 後數日ニシテ菌消失 本患者ノ家族 保菌者ノ四分 云フ	治癒後二三週
醫診受クム ノ感冒状態アレバ	ム種痘ノ有無ヲ 特ニ通學ノ停止 合生徒區域	流行時ニハ其ノ ム種痘調査シシ	咽喉頭痛ノ有無ヲ聞 家庭ニ歸ラシム ハ家庭ニ歸ラシム	流行時ハ下記豫防法
ノハ成初期ニ登校ヲ禁シ規定ノ消毒ヲ 行復後モ尙少褐色斑及ビ脱皮アルキシム	患者ハ速ニ隔離シ居室、衣類、器具 ヲ消毒ス豫防ハ毎五年ニ種痘セシム	患者ハ隔離シ規定ノ消毒ヲ行フ 確実ニ菌ノ消失シタル後登校ヲ許可 ス	患者ハ「ホルマリン消毒ヲ可トス ノ驅除ノ皮膚ノ清潔ニ注意シ毎日入浴セシム ノ傷アルモノハ治癒セシム其他鼠	

癰病	脊髓膜炎	豫後	
ハイ子、メ病	熱發、汗、四肢知覺過敏著 突然咯血ヲ以テ初マルコト 著シキ貧血狀態ヲ以テ初マ ルコトアリ 胃症狀ヲ以テ初マルコトア リ	一二日ノ惡寒、頭痛、四肢ノ牽 引痛ノ後劇頭痛、嘔吐、四肢ノ牽 引痛ノ後過半不良	概シテ良ナルモ合併症 豫後シ易シ
瘍肺結核及	慢性氣管枝カタル又ハ肺炎 ヨリ轉症ヨリ咯血ヲ以テ初マルコト 著シキ貧血狀態ヲ以テ初マ ルコトアリ 胃症狀ヲ以テ初マルコトア リ	熱發、汗、四肢知覺過敏著 突然咯血ヲ以テ初マルコト 著シキ貧血狀態ヲ以テ初マ ルコトアリ 胃症狀ヲ以テ初マルコトア リ	失スル迄
癰病	治癒後約二週	治癒後鼻咽頭ニ菌ノ	
癰病	同前	流行區域ヨリ通學ス ル兒童ニ注意スルヲ	
癰病	同前	嘸下痢等アルモノ ハ暨診ラ受ケシム	
癰病	同前	個人的ニハ感冒ニ罹ラザル様注意シ 患者ニ接近ハシテ談話セザルヲ可ト ス消毒上記ノ如シ	

現時の保育問題

奈良女高師教授 森川 正雄

(二) 小學校下級と幼稚園を結合した る新學校組織案

小學校と幼稚園との各々の立場の異同、或はその相互の關係連絡といふ事について、從來二つの違つた意見が行はれて居ます。(甲)は小學校と幼稚園とは性質が違ふ、其重大なる相違點を一言にいへば、前者は教授の場所であり、後者は嬉遊の場所であると言ふのであります。(乙)は子供の生活は成長發達にある、成長發達は漸進的推移的なものである。なるほど時期時期によつて發達上の變化特色はある、併し何も幼蟲と蛹と蛾との生活段階の如き截然たる違つた生活が幼稚園と小學校との生活の間にあるのではない、兩者の相違は性質の違ひではなく程度の差違に過ぎないと言ふのであります。右の二つの考は他の種々の考と混同して我國ではまだ可なり著しく對立した意見として行はれて居ます。思ふには是著眼點の相違から來た異見と言ふの外はないと思ひま

す。何せといふに小學校上級と幼稚園年少組を比較すれば其の差甚しくて(甲)の意見の様になり、之に反して小學校下級と幼稚園年長組とを比較すれば(乙)の意見の様にならねばならぬからであります。

近年米國に於て此の問題についての研究や意見や實驗報告などが段々發表せられて居ます。兩者の連絡案或は新學校組織案などとなつて現れて居ます。此に参考の爲に、是等の中から有益と思はれるものを取捨して概要を摘記して見ようと思ひます。兩者の關係を明にする便利の爲に新學校組織案の方を擇びます。その新學校案の基礎的理論とも言ふべきものは次の通りであります。

経験を積む事と之を統一する事とは常に相表裏して行はれる事ではあるが、併し幼兒兒童は或時期(A)には専ら経験の集積に主力を用ひ、或時期(B)には専ら其の整理組織といふ事に主力を注ぐといふ事がある。大體的に言へば四歳頃から九歳

頃までは前の時期(A)に屬し、九歳から十二歳頃までは後の時期(B)に屬する。それ故、四歳から

九歳頃迄即ち幼稚園と小學校下級とを合せて「幼童學校」とも名づくべき「新學校」を造り、専ら此の時期の幼童の發達に適應した方法を用ゐたならば教育の效果を今日よりも一層顯著にすることが出来るであらう。現在の小學校下級の教科材料中には上級に繰延べた方が宜いのがあり、又幼稚園から始めて宜い材料も少くない。特に幼稚園の自然的な方法は小學校に延長せられて效多きものと信せられる。此の幼童學校時期の特色とも言ふべきものを擧ぐれば。

(一) 幼童の實地經驗の知識は狹少であるから論理的概念や法則を作るに適せず、又経験の擴がり行くことが急劇であるから知識は改造を受ける事が甚しい。同一言語で言ひ顯しても其の内容は常に動搖して居る。

(二) 神經と筋肉との連結がまだ不充分であるから緻密な仕事には適しない。併し筋肉を使用することは多くしなければならぬ。幼少なほど運動が伴はないと言はば昏睡に傾き易いから五官器

や四肢や筋肉活動を同伴せしめる事が必要である。

(三) 此の時期は發達に於て個人的差違が甚しいから特に個人別取扱に力を用ゐねばならぬ。劃一的方法は最少限度におかねばならぬ。

(四) 自己の成立に急に、社會的自覺に不充分であるから、幼童自身の要求、自己目的の行為、自己の選擇の方法を重んじ、又將來の爲といふよりも現在の爲に多をなさしめねばならぬ。

(五) 方法は遊戲的方法、本能的方法を利用するが宜い。組織的方法によるよりも此の方が却つて注意を長く持続し且努力を誘出し易い。

現在の弊風を言へば、此の經驗集積時期に於て、却つて多くの時間を形式的鍛錬の爲に空費し過ぎて知的不消化を生ぜしめ、其の爲に他面、次の組織時期に入つて概念や法則を造るに當つて其の基礎たるべき實地知識の缺乏を苦しましめ、其の時期に恰も饑餓のまゝ働かねばならぬが如き状態に陥らしめて居る。

児童保護宣傳の計畫

○ 売せ児童擁護!!! 四月二十三日

本會が豫ねて計畫致して居りました児童保護宣傳は、其後各方面の方々の御盡力により、愈々来る四月二十三日を期して行ふこととなりました。その趣旨は卷頭に述べましたが、當日は東京市に於て下記の如き言葉の印刷物數十萬枚を一般市民に配布することと致します。

尙、當日午後は全市の幼稚園關係者にお願して、この印刷物の配付に御出動頂き、當夜は市内八ヶ所で醫師、教育家、宗教家の方々に御依頼して通俗講演會を開く事になりました。講演者及場所は目下交渉中ですが、大體左の如き豫定でございます。

講演者
 後藤新平氏・田子一民氏・乘杉嘉壽氏・生江孝之氏・弘田長氏・北豊吉氏・栗山重信氏・豐福褒氏・瀬川昌世氏・野田忠孝氏・唐澤光德氏・大田資孝氏・下田次郎氏・佐々木吉三郎氏・塙原政次氏・留岡幸助氏・安井哲子氏・塙本はま子氏・ミス・マグドナルド・河井道子氏・二階堂徳代氏・三谷民子氏・井上秀子氏・甲賀ふじ子氏。

賣は子りよ倉の萬

○ 持つべきものは子供なり

父は照り母は涙の雨となり
同じ恵みに育つなでしこ

○ 生き身には餌食あり

○ 乳房といふ天道のお扶持方

○ 賴もしやつんつるてんの初裕

子供には菓子や砂糖の甘きより

○ 親のあまきが大毒と知れ

○ 子供の名を揚げるも汚すも
子供の育ちのよしあしから

○ 盗せ力を児童擁護!!!

四月二十三日

日本幼稚園協会

日本幼稚園協會役員

會

長 湯原元一

主

幹 倉橋惣三

評議員

(イロハ順)

乙竹岩造 吉田熊次 田子一民 棚橋源太郎
田中ふさ 乘杉嘉壽 野口援太郎 野口幽香
安井哲 横山榮次 藤井利譽 下田次郎
日田權一 弘田長 菅原教造

幹事 (イロハ順)

井村くに 池田トヨ 坂内ミツ 星野樂
和田實 和田くら 梶原梢 土川五郎
奈良山梅 向井琴桂 黒瀬艶 小向きみ
小山花 及川ふみ

日本幼稚園協會編

四六判上製本全一冊
金參圓八拾錢
送料金拾貳錢
優美なる新装函入

訂正第二版

幼児聽覚がせるお話

このお話の本は、お茶の水の幼稚園に於て數年に亘つて、園児に聞かせたお話の中から、子供が三度も五度も繰返して聞きたがつた特別に面白いものを、更に百種選り抜いたもので。つまり無邪氣な、眞實な子供によつて、嚴密な審査を経た譯ですから、幼稚園は申すに及ばず、一般の御家庭でも安心して、すぐ其儘讀んで御聞かせになる事が出来ます。

編者は自信と勇氣を以て、皆様にしてのお話」と言ふ講話を附録として添へてある事も、此本の特色です。御勧め致し得ることを悦びます。

いき下簾御を次目の睿内い自面

•所行發
圃鶴老田內

東京本日橋大區傳馬町二丁目